

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587021701	科目番号 / Subject code	05870217
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境マネジメント (資源・エネルギー問題への取組み)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 敬彦		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 敬彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 敬彦, 藤本 登, 嶋野 武志		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamac@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	工学部2号館E405		
担当教員TEL/Tel	095-819-2539		
担当教員オフィスアワー/Office hours	別途指示する。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本のエネルギーの特徴と課題や地球温暖化対策推進法, 省エネ法等の関連法規の内容ならびに日本のエネルギー問題への取組みを理解させるとともに, 省エネや地球温暖化防止に取り組む姿勢を醸成させる。		
授業到達目標/Goal	日本のエネルギーの特徴と課題を理解させる。また, 日本のエネルギー問題への取組みを理解させる。		
授業方法(学習指導法)/Method	予習課題を基にした討論と解説		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	資源, エネルギー問題, 温暖化対策		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。教材はPDFファイルで提供する。参考書は適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予復習課題30%, 試験20%, レポート50%で評価し, 60%以上を合格とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
学生へのメッセージ/Message for students	関連する新聞記事やニュース等をチェックしておくとう理解が進む。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス 科目の概要, 狙い, 位置づけ, 到達目標, 授業の方法, 各単元の到達目標, 評価方法等を理解する。		
第2回	日本のエネルギー事情(その1) 日本のエネルギー事情について, その特徴と課題, 日本のエネルギー問題への取組みを理解し, 簡潔にまとめる。		
第3回	日本のエネルギー事情(その2) 日本のエネルギー事情について, その特徴と課題, 日本のエネルギー問題への取組みを理解し, 簡潔にまとめる。		
第4回	日本のエネルギー事情(その3) 日本のエネルギー事情について, その特徴と課題, 日本のエネルギー問題への取組みを理解し, 簡潔にまとめる。		
第5回	日本のエネルギー事情(その4) 日本のエネルギー事情について, その特徴と課題, 日本のエネルギー問題への取組みを理解し, 簡潔にまとめる。		
第6回	日本のエネルギー事情(その5) 日本のエネルギー事情について, その特徴と課題, 日本のエネルギー問題への取組みを理解し, 簡潔にまとめる。		
第7回	地球温暖化対策推進法(その1) 地球温暖化対策推進法について, 内容を理解し, 簡潔にまとめる。		
第8回	地球温暖化対策推進法(その2) 地球温暖化対策推進法について, 内容を理解し, 簡潔にまとめる。		
第9回	地球温暖化対策推進法(その3) 地球温暖化対策推進法について, 内容を理解し, 簡潔にまとめる。		

第10回	地球温暖化対策推進法（その4） 長崎大学における地球温暖化対策について調べ、取るべき行動を理解する。
第11回	省エネ法（その1） エネルギー使用の合理化に関する法律について、内容を理解し、簡潔にまとめる。
第12回	省エネ法（その2） エネルギー使用の合理化に関する法律について、内容を理解し、簡潔にまとめる。
第13回	省エネ法（その3） エネルギー使用の合理化に関する法律について、内容を理解し、簡潔にまとめる。
第14回	省エネ法（その4） 長崎大学の省エネ対策について調べ、省エネ方法について理解する。
第15回	テスト・レポートのまとめ テストによる知識の定着の確認を行う。また、資源・エネルギー問題への取組みのまとめを完成させる。
第16回	総括 講義の評価を行い、改善点等について議論する。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587022101	科目番号 / Subject code	05870221
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境マネージメント (エネルギーマネージメント)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 敬彦		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 敬彦		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 敬彦		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamac@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	工学部2号館E405		
担当教員TEL/Tel	095-819-2539		
担当教員オフィスアワー/Office hours	別途指示する。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	エネルギー・マネージメントの実際を理解させるとともに、エネルギーに関する長崎大学の現状と課題について理解を深めさせ、長崎大学コミュニティーの一員として適切な行動をとることができるようにする。		
授業到達目標/Goal	エネルギーに関する長崎大学の現状を分析し、課題とその解決に向けた案を示すことができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	PBL形式で授業を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	エネルギーマネージメント, 省エネ法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	グループワークへの貢献度40点満点, レポート60点満点の合計で評価し, 60点以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし。		
学生へのメッセージ/Message for students	省エネ等に関するニュースや新聞記事をチェックしておくに役立つ。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス 科目の概要, 狙い, 位置づけ, 到達目標, 授業の方法, 各単元の到達目標, 評価方法等を理解する。		
第2回	課題探求と課題解決の方法(その1) 課題探求と課題解決の方法について理解し, 要点をまとめる。		
第3回	課題探求と課題解決の方法(その2) 課題探求と課題解決の方法について理解し, 要点をまとめる。		
第4回	情報収集・分析(その1) エネルギーに関する長崎大学の現状について情報を収集し, 分析を実施する。		
第5回	情報収集・分析(その2) エネルギーに関する長崎大学の現状について情報を収集し, 分析を実施する。		
第6回	情報収集・分析(その3) エネルギーに関する長崎大学の現状について情報を収集し, 分析を実施する。		
第7回	情報収集・分析(その4) エネルギーに関する長崎大学の現状について情報を収集し, 分析を実施する。		
第8回	課題の探求(その1) エネルギーに関する長崎大学の課題を探求し, 解決すべき課題を抽出する。		
第9回	課題の探求(その2) エネルギーに関する長崎大学の課題を探求し, 解決すべき課題を抽出する。		
第10回	課題の探求(その3) エネルギーに関する長崎大学の課題を探求し, 解決すべき課題を抽出する。		
第11回	課題解決法の立案(その1) エネルギーに関する長崎大学の解決すべき課題に対する解決のアイデアを出し, 解決法を探索する。		

第12回	<p>課題解決法の立案（その2）</p> <p>エネルギーに関する長崎大学の解決すべき課題に対する解決のアイデアを出し，解決法を探索する。</p>
第13回	<p>課題解決法の立案（その3）</p> <p>エネルギーに関する長崎大学の解決すべき課題に対する解決のアイデアを出し，解決法を探索する。</p>
第14回	<p>課題解決策のまとめ・提案（その1）</p> <p>エネルギーに関する長崎大学の解決すべき課題に対する解決法を提案としてまとめる。</p>
第15回	<p>課題解決策のまとめ・提案（その2）</p> <p>エネルギーに関する長崎大学の解決すべき課題に対する解決法を提案としてまとめる。</p>
第16回	<p>総括</p> <p>講義の評価を行い，改善点等について議論する。</p>

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587022501	科目番号 / Subject code	05870225
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境マネジメント (化学薬品等の取り扱い)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	久保 隆		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	久保 隆		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	久保 隆, 真木 俊英, 竹下 哲史		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育学部、経済学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kubo-t@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟10階1008室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2246		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前連絡があれば随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	化学薬品等に関する取り扱いを理解し、化学薬品の取り扱いと安全・安心について理解する。また、安全な取り扱いができる。		
授業到達目標/Goal	化学薬品等を安全に取り扱うための基本的な知識を習得する()とともに、関連情報の所在を把握し、その意味を理解する()。また、世界の化学物質関連制度にも目を向けることができるようになる()。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義及び討論		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	リスク、化学物質管理制度、化学物質の登録制度、予防原則		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。教材はPDFファイル等で提供する。参考書:「化学物質リスク管理用語辞典」化学工業日報社、「基礎化学実験安全オリエンテーション」東京化学同人		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義への積極的取り組み30%, 試験20%, レポート50%で評価し, 60%以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業外学習に充てるべき時間: 週平均2時間以上		
学生へのメッセージ/Message for students	定期的にニュースをチェックすることや、幅広い内容について読書することも、この講義の理解を深めるために有用です。前向きな取り組みを期待します!		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス: 科目の概要, 狙い, 位置づけ, 到達目標, 授業の方法, 各単元の到達目標, 評価方法等を理解する。		
第2回	安全・安心とリスク(その1): 安全・安心の考え方, およびエラーとその対策概念の基本について理解し, 身近な安全行動を実践できる。		
第3回	安全・安心とリスク(その2): 化学物質の取り扱いに関するリスクアセスメントの基本について理解し, 身近な安全行動を実践できる。		
第4回	毒劇物の取り扱い: 毒劇法(毒物及び劇物取締法)と毒劇物に関する学内規定(長崎大学における毒物及び劇物の取扱いに関する規則)を理解する。		
第5回	特定化学物質の取り扱い: 特化則(特定化学物質障害予防規則)の主旨を理解し, 簡潔にまとめる。		
第6回	有機溶剤の取り扱い: 有機則(有機溶剤中毒予防規則)の主旨を理解し, 簡潔にまとめる。		
第7回	実験時の安全(その1): 実験に用いる薬品や器具等の基本的な取扱方法, 具体的な安全対策について理解する。		
第8回	実験時の安全(その2): 実験に用いる薬品や器具等の基本的な取扱方法, 具体的な安全対策について理解する。		
第9回	毒性試験と毒性値: 毒性試験や毒性値の種類を学び, それらの意味を理解する。		

第10回	基準値等の設定： 化学物質の毒性に基づいた基準値や指針値設定の考え方を理解する。
第11回	危険有害性に基づく化学薬品等の分類と表示： GHS（化学品の分類および表示に関する世界調和システム）やラベル表示の概要を理解する。
第12回	安全データシート（その1）： SDS（安全データシート）の概要を理解する。
第13回	安全データシート（その2）： 具体的なSDSに記載されている事項を理解し、重要なポイントをまとめ、伝達する。
第14回	世界の化学物質管理： 日本や欧米諸国等の化学物質管理制度について概要を理解するとともに、時代的変遷から現在を見つめ直す。
第15回	テスト・レポートのまとめ： テストによる知識の定着の確認を行う。また、各単元のポイントのまとめを完成させる。
第16回	総括： 講義の評価を行い、改善点等について議論する。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/14		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587022901	科目番号 / Subject code	05870229
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境マネジメント (環境汚染物質のマネジメント)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	久保 隆		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	久保 隆		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	久保 隆		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育学部、経済学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kubo-t@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟10階1008室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2246		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前連絡があれば随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	環境汚染物質のマネジメントについて理解するとともに、長崎大学における廃液処理の実際を見学し、長崎大学コミュニティーの一員としてとるべき行動を示すことができる。		
授業到達目標/Goal	日本における環境汚染物質管理について自ら学び()、議論や発表を通じて理解を深める()。また、本学における化学物質関連情報に基づいて学生相互に意見を出し合い()、課題を発見・解析できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	討論及び講義		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	廃液処理施設の役割、PRTR情報、環境管理システム、公害		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。教材はPDFファイル等で提供する。参考書:「アジア環境白書2003/04」東洋経済新報社、「新潟水俣病の三十年」日本放送出版協会、「Minamata Disease」水俣病患者連合		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義への積極的取り組み30%、プレゼンテーション20%、レポート50%で評価し、60%以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業外学習に充てるべき時間: 週平均2時間以上		
学生へのメッセージ/Message for students	定期的にニュースをチェックすることや、幅広い内容について読書することも、この講義の理解を深めるために有用です。前向きな取り組みを期待します!		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス: 科目の概要, 狙い, 位置づけ, 到達目標, 授業の方法, 各単元の到達目標, 評価方法等を理解する。		
第2回	課題探求と課題解決の方法(その1): 課題探求と課題解決の方法について理解し, 要点をまとめる。		
第3回	課題探求と課題解決の方法(その2): 課題探求と課題解決の方法について理解し, 要点をまとめる。		
第4回	汚染物質の動態と廃液処理施設(その1): 大気汚染の概要を理解する。また、大気への負荷低減に果たす排ガス処理施設や本学廃液処理施設の役割を理解する。		
第5回	汚染物質の動態と廃液処理施設(その2): 水環境汚染の概要を理解する。また、水環境への負荷低減に果たす下水処理施設や本学廃液処理施設の役割を理解する。		
第6回	公害に学ぶ(その1): 過去の公害について調査・議論・発表し、当時起こった事実を理解する。		
第7回	公害に学ぶ(その2): 公害について調査・議論・発表し、過去の事実および現状を理解し、世界の状況に目を向ける。		
第8回	公害に学ぶ(その3): 公害についてまとめ、世界に発信すべき教訓を考える。		
第9回	長崎大学の排水管理(その1): 本学の排水管理の概要を理解するとともに、排水分析結果を解析する。		

第10回	長崎大学の排水管理（その2）： 本学の排水管理の概要を理解するとともに、排水分析結果を解析する。
第11回	長崎大学の実験廃液処理方法： 本学の有機系および無機系実験廃液処理施設の概要を学び、実施設の見学を通して体験的に理解する。
第12回	長崎大学の廃棄物管理（その1）： 本学の廃棄物管理の概要を理解するとともに、廃液回収結果を解析する。
第13回	長崎大学の廃棄物管理（その2）： 本学の廃棄物管理の概要を理解するとともに、廃液回収結果を解析する。
第14回	長崎大学のPRTRデータ（その1）： 本学におけるPRTR法対象物質の調査結果を解析する。
第15回	長崎大学のPRTRデータ（その2）： 本学におけるPRTR法対象物質の調査結果を解析する。
第16回	総括： 講義の評価を行い、改善点等について議論する。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587023301	科目番号 / Subject code	05870233
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境マネジメント (廃棄物のマネジメント)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹下 哲史		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹下 哲史		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹下 哲史		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	juniper@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	産学官連携戦略本部 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2227		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで問い合わせ		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	廃棄物の処理に関する法律等を理解するとともに, 実際に廃棄物の分別を体験し, 廃棄物のマネジメントに関する知識と理解を深める.		
授業到達目標/Goal	学内の「ごみ」の実態調査・分析から, 社会に必要な廃棄物のマネジメントについて考察する力を身につける.		
授業方法(学習指導法)/Method	学内における「ごみ」の実態調査, 分析から現状の問題点を抽出し, 解決方法を提案する.		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	廃棄物 ごみの分別 ごみ処理の方法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない. 資料は適宜提示する.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の授業への積極的な参加30%, レポート70%で評価し, 60%以上を合格とする.		
学生へのメッセージ/Message for students	自分が住んでいる自治体で定められているごみの分別方法を正しく理解しておくこと.		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ごみの話, 関連する法制度についての概要説明		
第2回	課題解決の方法		
第3回	課題解決の方法		
第4回	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)の概要説明		
第5回	居住地域のごみ分別方法について調査する		
第6回	居住地域のごみ分別方法の調査結果を分析し, 「ごみを分別すること」について考察する		
第7回	環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を分析する		
第8回	日本の廃棄物処理の現状評価から問題点を抽出する		
第9回	長崎大学における廃棄物の分別・処理方法について理解する		
第10回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う		
第11回	長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う		
第12回	長崎大学における「ごみ」の実態調査結果の分析を行い, 現状を評価する		
第13回	長崎大学における「ごみ」の現状評価から問題点を抽出する		
第14回	「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討する		
第15回	「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方法をまとめて提案する.		
第16回	【総括】 一連の過程を振り返り, 改善点等について議論する.		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他/Oth. 0
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587023701	科目番号 / Subject code	05870237
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	環境マネジメント (環境分析技術 (advanced class))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	久保 隆		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	久保 隆		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	久保 隆, 真木 俊英		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育学部、経済学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kubo-t@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟10階1008室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2246		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前連絡があれば随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	環境分析技術を理解するとともに、化学物質の分析を実体験し、環境分析に関する理解をさらに深める。		
授業到達目標/Goal	専門的な環境分析技術の習得を目指す。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義および実習		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	環境分析, 機器分析, 有害化学物質		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。教材はPDFファイル等で提供する。参考書は適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポートで評価し、60点以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	環境分析技術者を目指す人		
学生へのメッセージ/Message for students	集中講義で行う。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス: 科目の概要, 狙い, 位置づけ, 到達目標, 授業の方法, 各単元の到達目標, 評価方法等を理解する。		
第2回	環境分析技術の基礎(その1): 法規制について理解する。		
第3回	環境分析技術の基礎(その2): 定量分析について理解する。		
第4回	環境分析技術の基礎(その3): BOD分析について理解する。		
第5回	環境分析技術の基礎(その4): GC / MS計測について理解する。		
第6回	環境分析技術の基礎(その5): HPLC / MS-MS計測について理解する。		
第7回	廃棄物の溶出, 前処理(重金属分析): 廃棄物の溶出試験, 重金属分析の前処理を実施し, 処理法・分析法を理解する。		
第8回	ICP発光分析, 水銀分析: ICP発光分析, 還元気化法による水銀分析を実施し, 分析法を理解する。		
第9回	水中のVOC, n-ヘキサン抽出物の分析: 水中のVOC, n-ヘキサン抽出物の分析を実施し, 分析法を理解する。		
第10回	T-N, T-P測定: T-N, T-P測定を実施し, 測定法を理解する。		
第11回	カフェインの分析: HPLCによるカフェインの分析を実施し, 分析法を理解する。		
第12回	排水管理: バイオアッセイによる排水管理を理解する。		

第13回	大気中のVOC，アルデヒドの分析： 大気中の化学物質の捕集，GCによるVOC，アルデヒドの分析を行い，捕集法，分析法を理解する。
第14回	排水の解析： BODの解析とTOC分析との比較，バイオアッセイによる排水の解析を行い解析法を理解する。
第15回	レポートのまとめ： 実験・実習レポートを完成させる。
第16回	総括： 講義の評価を行い，改善点等について議論する。